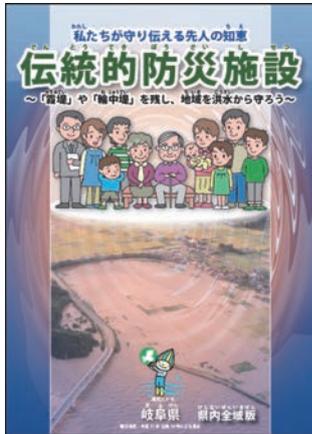


【河川部門】

事業名 岐阜県伝統的防災施設マップの作成と活用
 授賞機関 岐阜県
 実施期間 平成24年～平成25年



表紙



伝統的防災施設マップの内容



小学生にも理解できるようにわかり易い言葉づかい、イラストを多用

〔事業概要と評価〕

霞堤や輪中堤などの伝統的な防災施設の位置や意義などを、有識者のみならず地域住民の声を取り入れまとめたマップを全国で初めて作成。作成したマップを小中学校や自治会に配布したり、テレビ番組やホームページにより、県内外の方に対して情報発信を行ったりするなど、施設の認知度や防災意識の向上に貢献している点が評価された。

事業名 瀬田川水系直轄砂防事業
 授賞機関 国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所
 実施期間 明治11年～平成26年3月31日



明治時代より効果を発揮した堰堤



明治41年(山腹工施工前) 平成19年 禿げ山に緑が蘇った田上山(滋賀県大津市)

〔事業概要と評価〕

奈良・平安時代の宮殿造営に伴う乱伐などにより禿げ山となり、大量の土砂を流出し続けていた流域において、明治5年からは滋賀県が砂防工事を実施し、明治11年には日本で初となる直轄砂防事業が実施されてきた。現在山は緑となり、異常な土砂流出が収まり、地域の安全性向上に多大な貢献を果たし、136年もの間続けられた直轄砂防事業が完了した。地元住民の労力とともに、防災教育を実施するなど地域と連携し実施してきたことが評価された。